

京大博物館・春の企画展

入場者1000人超す

大阪の△社員に記念品

「イルド研の挑戦」の入場としてとらえる」研究・教育者が十六日、千人に達し、育をわかりやすく紹介。生きた。千人目の入場者となった。物の標本や複製、ビデオ映た大阪市城東区の会社員、像などを通じて海から森ま

京都大総合博物館（京都 河横香織さん（三）には記念市左京区）で三日から開か 品が贈られた。れている春季企画展「森と 同展では、京大が目指す里と海のつながり」京大フ 「海から森までをつながり

一般に分りやすく紹介

1000人目の入場者となつた河横さん（右）

でのつながりが実感できるよう工夫されている。

このため、専門家向けだったこれまでの企画展に比べると、倍以上のペースで人が訪れているという。

千人目の入場者となった河横さんは、田中克・フィールド科学教育研究センター長から記念品として硬骨

を赤、軟骨を青に染色した本当に「ラッキー」と話してヒラメの稚魚標本を受けといた。同展は八月二十九日まで（月曜、火曜日休館）。

